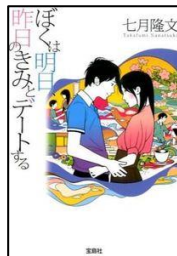


## 右京中央図書館

『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』  
七月 隆文／著 宝島社  
京都の美大に通うぼくがひと目惚れした女の子。  
彼女に隠されている大きな秘密とは…？  
お互いが大切に思い合うのが伝わるせつない恋物語。  
読み終わると、最初から読み返したくなる作品です。



## 洛西図書館

『うた恋い。』  
杉田 圭／著 メディアファクトリー  
百人一首が漫画で描かれた作品です。  
喜びや悲しみなど様々な思いが詰まった  
和歌(うた)は、長い時を越えても  
色褪せることなく詠み継がれています。  
そんな歌人たちの思いを感じとってみてください。



## 久世ふれあいセンター 図書館

『小説映画ドラえもん のび太の月面探査記』  
藤子・F・不二雄／原作 辻村 深月／著 小学館  
のび太の信じる「月にウサギがいる」説がきっかけに  
始まった冒険は、月世界を越えて、  
宇宙の彼方にあるカグヤ星へ向かう！  
直木賞&本屋大賞作家・辻村深月のドラえもん愛に  
満ち溢れる物語です。



## 近隣5館 コラボ企画

読んでから見るか 見てから読むか  
-映画・アニメの原作を読もう！-

## 西京図書館

『線は、僕を描く』  
砥上 裕将／著 講談社  
両親を事故で失い、心が真っ白になってしまった  
大学生の青山霜介は、墨だけで描く水墨画と出会い  
自分の心と向き合っていく。水墨画の描写を通して、  
世界の美しさや純粋さを感じ取れる一冊です。



## 吉祥院図書館

『つくもがみ貸します』  
畠中 恵／著 角川書店  
時は江戸。古道具を扱う出雲屋では、  
品物のつくもがみ達が毎日噂話でやかましい。  
ある日持ち込まれた事件を店主の姉弟と共に解決へ  
大活躍！温かくてほっこり切ない  
人情噺をどうぞ。



Teen's 久世ふれあいセンター  
 Teens' 久世ふれあいセンター

ティーンズコーナー情報紙  
年4回発行の季刊紙です。

2022冬 vol.27

(公財)京都市生涯学習振興財団  
Ukyo Central Library UC  
京都市右京中央図書館 Lib



2022.12 発行  
京都市右京中央図書館 <https://www2.kyotocitylib.jp>  
〒616-8104 京都市右京区太秦下刑部町12番地  
☎ 075 (871) 5336  
休館日: 火曜日 年末年始(12月29日~1月4日)  
開館時間: 平 日...午前9時30分~午後8時  
土 日 祝...午前9時30分~午後5時

# その名は、 主人公

＜新着本から、物語の主人公を紹介します＞



『夜がうたた寝してる間に』  
君嶋 彼方／著 KADOKAWA

特殊能力を持つ  
海木旭



『怪盗フラヌールの巡回』  
西尾 維新／著 講談社

二匹の怪盗  
「あへん」メーデー



『ペーパー・リライ』  
佐原 ひかり／著 河出書房新社

「紙芝居のメロウ」  
野中初

＜お知らせ＞  
ティーンズコーナーにて  
「みんなの木」募集中です！  
用紙に記入して緑のポストに  
入れてください。  
皆さんの投稿をお待ちして  
おります！

様々な分野から本を集め、  
「広がる世界」と題しまし  
た。新年の始まりに向け、  
自らの世界を広げてみるの  
はいかがでしょうか？ (I)

新社会人の翠川真緑が選  
んだ職場は農林高校の国  
語教師。生徒から「グリー  
ン・グリーン」と呼ばれるよ  
うになる。  
失恋を救ったお米の美味  
しさに衝撃を受け、農林高  
校を選んだ真緑が、きつか  
けをこえて農業へ距離を近  
づけていくまでの物語です。

『グリーン・グリーン』  
あさのあつこ／著 徳間書店



## 広がる世界

ティーンズコーナー〈展示〉  
12月～3月のテーマ

高校一年生の桃子は、ある  
日先輩の清らから勧誘を受け  
短歌を詠む部活、「うた部」へ  
入部することに。  
うた部を通して、桃子自身の  
成長、同じクラスで引きこも  
りの綾美との少しずつ変わって  
いく関係を描きながら、短歌  
の世界を感じさせるお話です。

『うた部とは  
小さないのち  
ひろいあげ』  
村上しいこ／著  
講談社



その他にも・・・etc

- 『ひんやり氷の本』 前野 紀一／監修 池田書店
- 『キングヨはなぜ海がきらいなのか？』  
金子 豊二／著 恒星社厚生閣
- 『南極日和』 「南極日和」制作班／著 実業之日本社
- 『宮沢賢治の元素図鑑』 桜井 弘／著 化学同人
- 『ブラックホールに近づいたらどうなるか？』  
二間瀬 敏史／著 さくら舎